

幅の広い歩道の整備や段差の解消など道路のバリアフリー化の推進

【予算額】3,460,600千円

担当 道路街路課 交通安全施設整備担当
道路環境課 交通事故緊急対策担当
内線 5097、5098

目 的

埼玉県における令和6年の交通事故死者数は113人（全国ワースト5位）を数え、依然として高い状況にある。
交通事故死者数のうち歩行者の占める割合が約4割と最も高く、歩行者に対する交通安全対策が喫緊の課題となっていることから、歩行者と自動車を分離する歩道整備を進める。
また、高齢者や障害者など歩行者の誰もが円滑に移動できるようにするため、バリアフリー法に基づく特定道路の整備や、ユニバーサルデザインによる歩行空間の整備を推進する。

事業概要

寄附募集事業

1 幅の広い歩道の整備や段差の解消など道路のバリアフリー化の推進 3,460,600千円

（1）暮らしの安全安心を支える歩道整備の推進 3,107,600千円

児童を中心とした歩行者の安全を確保するため、通学路及び未就学児の移動経路を優先して、歩道整備を進める。
（令和7年度実施箇所：ときがわ坂戸線など96箇所）

（2）安全かつ安心な歩行空間の確保 353,000千円

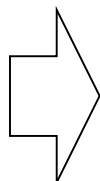
段差のない歩道の整備などにより、高齢者や障害者などが安全かつ安心に歩くことのできる歩行空間を確保する。
（令和7年度実施箇所：越谷八潮線など11箇所）

○ 整備例

・ 歩道整備（笠幡狭山線：狭山市）



整備前



整備後

・ 段差解消（熊谷小川秩父線：小川町）



整備前



整備後